

Contents

- 1 おらんくの組合(高知市ハイヤー協同組合)
- 3 秋の叙勲/組合New Face/正副会長会開催
- 4 外国人技能実習制度適正化講習会のご案内
ものづくり担い手育成研修のご案内(機械加工)
- 5 中小企業団体全国大会(広島県)開催報告
- 7 女性団体等活躍促進事業レポート
- 8 ものLABOレポート
- 9 中央会青年部情報“雄飛”(西部交流会・とさとーく・
四国ブロック交流会・全国講習会のご報告)
- 11 組合いんぷおめーしょん
- 13 県内各業界の動向(2025年10月)

つな
人を継ぎ、組織を育む 高知県中小企業団体中央会
TEL : 088-845-8870 E-mail : info@kbiz.or.jp

ウェブでも
へんしも!

これまでの記事は
こちらから >>>>

HP: <https://www.kbiz.or.jp/>



高知市ハイヤー協同組合

走り続ける地域の足、築き続ける地域の未来

組合の歩みと 地域交通への使命

「ちょっとそこまで」から「いざというとき」まで、タクシーは地域の暮らしに寄り添う、なくてはならない存在です。地域住民や観光客の移動、高齢者の通院や買い物、災害時の緊急輸送など、日常の移動から非常時の輸送対応まで、幅広く地域を支える役割を担っています。

昭和33年8月に設立して以来、組合員の事業を支えるため、タクシー車両に貼付する料金ステッカーや禁煙車両ステッカーの他、運輸局への提出が義務付けられている点呼記録簿、苦情処理簿、事故報告書などの共同購買を実施しています。日々の業務に欠かせない物品を取りまとめて供給することで、各事業者が個別に準備する手間が省け、業務の効率化とコスト削減につながっています。



▲料金ステッカー・禁煙車両ステッカー

近年、高知市内ではバス路線の一部廃止や減便が相次ぎ、公共交通の空白地が広がりつつあります。こうした地域では、タクシーが地域住民の移動手段として、ますます重要な役割を担うようになっており、当組合としても「地域の足を守る」という使命を、これまで以上に強く意識するようになっています。一方で、タクシー運転手の数は年々減少しており、平成29年には1,000人を超えていた組合員の運転手も、今年3月末時点では681人にまで減少しています。こうした人手不足の影響により、タクシーの配車が追いつかない状況が生じています。

地域交通の未来を支える新たな一歩 「こちタク」の運用開始

このような地域交通の課題とタクシー運転手の人手不足に対応するため、当組合では利便性と効率性の両立を図る新たな取り組みとして、タクシー配車アプリ「こちタク」を導入しました。

「こちタク」は、利用者がアプリ上で乗車位置と目的地を入力するだけで、簡単に近隣のタクシーを呼ぶことができるサービスです。電話での連絡は不要で、LINEからの配車依頼にも対応しています。依頼が完了すると、乗車希望地点に最も近い車両が選ばれ、利用者のもとへ向かう仕組みとなっています。

昨年10月からアプリ開発事業者の選定を開始し、複数の配車アプリを比較検討した結果、運行データを事業者自身で管理できることや、利用者へのクーポン配布が可能であることが決め手となり、山口県のタクシー関連会社である株式会社REAが開発したアプリを採用しました。約半年という限られた準備期間の中で導入体制を整え、今年4月から運用を開始しています。

タクシー運転手の人手不足が深刻化する中、「こちタク」の導入により、限られた人員で効率的な配車が可能となり、利用者がスムーズに乗車できる利便性の向上が期待されています。バス路線の縮小が進む中、公共交通の代替手段とし



▲「こちタク」アプリを使って配車対応を行う運転手の様子



組合プロフィール

所在地	高知市大津乙1879番地9
TEL	088-866-0520
設立	昭和33年8月
組合員数	26名
主な事業	共同購買事業



理事長 明石 健市 氏

での役割も期待されていることから、本事業に係る導入費用及び初年度の運用コストについては、高知市から支援を受けています。

組合員のタクシー運転手の平均年齢は66歳と高齢であり、「こちタク」導入後のアプリ操作に対する不安の声も少なくありませんでした。そのため、研修会を実施し、操作方法の理解促進と不安の軽減を図りました。こうした取り組みを経て、高知市内のすべての法人タクシー会社と一部の個人タクシーが参加しており、約500台の車両が対応可能となっています。

現在、「こちタク」は当組合と株式会社REAとで契約していますが、来年度からは各組合員による個別契約へと移行します。そのため、より多くの組合員に継続的に利用してもらえるよう呼びかけています。

今後も、利用者と運転手の双方に向けて「こちタク」の利用促進に取り組み、効率的な配車を通じて、地域交通の課題解決や組合員の売上向上につなげていきたいと考えています。

地域の足を守る使命を次世代へ

当組合では今年9月に、タクシー運転手の人材確保を目的として、「タクシードライバーの仕事を知るセミナー＆ミニ面接・相談会」をハローワーク高知で開催しました。この取り組みは、令和4年から実施しており、内容は年ごとに少しずつ異なりますが、継続的に開催しています。

このセミナーは、求職者がタクシー運転手の仕事について理解を深め、就職への一歩を踏み出すきっかけとなるよう企画したものです。当日は、組合員が参加し、仕事内容や職場の雰囲気について説明を行いました。また、個別相談に加えて実際の乗車体験も行い、未経験の方でも業務のイメージを具体的に持てるよう工夫しました。



▲相談会の様子

昨年は3名の方がセミナーをきっかけに就職されています。少しずつでもタクシー運転手の担い手が増えていくことが、持続可能な地域交通の実現につながると考えています。

こうした人材確保の取り組みと並行して、当組合では地域交通の福祉的役割を改めて見直し、災害時の輸送体制の整備にも取り組んでいます。昨年3月には高知市と協定を結び、災害発生後、避難所での生活が困難な高齢者や妊産婦、障害のある方々を、福祉避難所へ安全かつ円滑に輸送できる体制を整えました。

今後も、地域交通が果たす役割の大きさと、その責任の重みを真摯に受け止め、誰もが安心して暮らせるよう地域の足を次世代へと引き継いでいきます。

知っこれ
こちタク
HENSIMO
information

「こちタク」新規登録クーポン第2弾を配布中！

4月にご好評いただいた新規登録クーポンを、9月より再び配布しています。
1,000円分(500円×2枚)のタクシークーポンをプレゼントします。

対象 「こちタク」アプリまたはLINEに新規登録をした方。
※第1弾でクーポンを取得された方は対象外です。

配布・使用期限 令和8年1月31日(土)

クーポン取得方法 「こちタク」アプリまたはLINEで新規登録をした後、
右上のQRコードを読み込むとクーポンを取得できます。
※QRコードが読み込めない場合は
「キャンペーンコードで登録」から、クーポンコード
『KC119579353』を入力してください。



▲新規登録
クーポン



iOS 版



Android 版



LINE 版

▲アプリ、LINEからの登録はこちらから

栄えある受章 おめでとうございます！

令和7年 秋の叙勲



旭日双光章

高知県旅館ホテル生活衛生同業組合 理事長
高知県中小企業団体中央会 副会長

藤本 正孝氏



組合 New Face

しまんと川来たや協同組合

設立：令和7年7月11日

所在地：高知県四万十市西土佐江川崎2824番地10

出資金：100,000円

組合員数：10名

主な実施事業：特定地域づくり事業としての労働者派遣事業



桑原 宏文 理事長

平成17年に中村市と西土佐村が合併して誕生した四万十市の人口は、合併時の38,000人をピークに一貫して減少しています。3年後には30,000人を割り込む予想で、人口減少に起因した様々な課題への対応に迫られています。特に、地域産業を担う20～30代の若者世代の人口が非常に少なく、業種を問わず人手不足が生じ、地場産業の維持・存続が危惧される状況にあります。

そこで、特定地域づくり事業としての労働者派遣事業を活動の軸に、将来的には地域づくり人材の確保及び育成並びにその活躍の推進のための事業の実施を視野に入れた協同組合を設立しました。派遣職員には地域内外から地域産業へ従事していただける人材を発掘・雇用し、地域事業者への派遣を通じて、地場産業の維持・発展に貢献しながら、過疎化対策と地域経済の活性化に繋げていきます。

令和7年度 第1回正副会長会を開催

本会では、去る10月27日(月)、四万十市西土佐「ホテル星羅四万十」において、令和7年度第1回正副会長会を開催しました。

会では、久松会長が議長となり、本年度上半期における補助事業及び受託事業の遂行状況と下半期の事業執行予定について説明報告が行われ、満場一致で承認されました。

終了後には、引き続き、第2回創立70周年記念事業委員会が開催され、前回委員会の確認及び全体スケジュール並びに表彰申請の状況報告と、質疑応答が行われました。



外国人技能実習制度適正化講習会のご案内

参加者募集!
無料

開催日時 令和8年1月19日(月) 14時～17時

開催場所 高知サンライズホテル(高知市本町2丁目2-31)

対象者 介護・建設業・製造業など様々な事業者

概要

①講習会

▶会計監査について

講師:松岡宣明税理士事務所 税理士 松岡宣明氏

▶監理団体の運営について/今後の受入企業・監理団体の採用の対応/労務における留意点

講師:合同会社 ICHI 代表社員 西野宮 貴昭氏

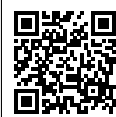
②県内監理団体 意見交換会

申込締切 令和8年1月14日(水)

申込方法 下記のURL又は右の2次元コードよりお申し込みください

申込先 URL: <https://forms.gle/6jJs6njAsNNjTWY8A>

申込サイト



<担当> 連携推進部 高瀬

武田

公文

ものづくりの基盤技術強化を図る研修会のご案内

—令和7年度ものづくり担い手育成事業—

参加者募集!
無料

▶機械加工技術者研修

●開催日時 令和8年1月22日(木)・23日(金) 両日とも 9時30分～17時

●開催場所 高知職業能力開発短期大学校 214室(香南市野市町西野1595-1)

【概要】 機械加工技術に関する基本的な知識及び技術の習得を目指し、丁寧でわかりやすい講義を行います。

【募集人員】 15名(※先着順)

【申込締切】 令和8年1月9日(金)

【申込方法】 下記のURL又は右の2次元コードよりお申し込みください

【申込先】 URL: https://www.kbiz.or.jp/r7_kikaihozen/

申込サイト



<担当> 連携推進部 公文

お客さまの
笑顔の花を
咲かせるしごとです。

お金のこと、経営のことのほかにも、デジタル化の推進や事業承継など、さまざまな経営課題に対してその道のプロフェッショナルが解決策を提案します。信用保証協会では、経営の「今」を全力でサポートします。

高知県信用保証協会

〒780-0901 高知市上町3丁目13番14号
TEL 088-832-3261 FAX 088-822-7069
URL <http://www.kochi-cgc.or.jp/>

.com
BANK

未来ファクトリー



お客様のより良い未来を創造する「未来ファクトリー」。
ソ・シャルインフラを創造する「未来ファクトリー」。
県民の方々の幸せな暮らしや事業、
安全・安心にお応えできる金融サービスをお届けします。

高知信用金庫

ドットコムバンク

検索

第77回 中小企業団体全国大会 in 広島

“つながる ひろげる 連携の架け橋”

～夢を語ってはしゃぎん祭! 轟轟(GOGO)と突き進め～

去る11月12日(水)、「第77回中小企業団体全国大会」が、「広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)」(広島県広島市)にて開催されました。

大会には全国から中小企業団体の代表約2,100名が参集。本県からは久松朋水会長を団長に18名が参加しました。



森洋全国中小企業団体中央会会長

大会では山根健嗣・広島県副知事をはじめ、多数の来賓ご臨席のもと、伊藤學人・広島県中央会会長が議長に、岩崎陽一・鳥取県中央会会長、櫻井一郎・熊本県中央会会長がそれぞれ副議長に選任されて議事が進行し、「中小企業・小規模事業者等の経営環境変化対応、成長促進支援等の拡充」、「中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」、「中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備」など15項目を決議しました。

また、組合運営が特に優良と認められた「優良組合」38組合、業界及び組合の発展に寄与した功績が顕著な「組合功労者」73名、中央会指導員として他の模範となる「中央会優秀専従者」25名の表彰が行われ、本県からは次頁の方々が受賞されました。

最後に次期開催地として熊本県が決定し、大会旗が森洋・全国中央会会長から櫻井一郎・熊本県中央会会長へ継承され、閉会となりました。

【第77回中小企業団体全国大会決議】

我が国の中小企業・小規模事業者は、少子高齢化の進行、人口減少地域の増大などの社会経済の構造的な課題の影響を受ける中で、全国各地で頻発する自然災害、国際情勢の不透明感の強まりやエネルギー・原材料価格の上昇に加え、人件費増加にも直面する等、引き続き厳しい経営環境にある。

中小企業・小規模事業者の経営は、十分な価格転嫁が進まず、物価上昇を上回る賃上げ要請や設備投資の原資確保に苦しんでいる一方、深刻化する人手不足で防衛的に賃金を引き上げざるを得ず、原材料価格の上昇による支払い増加、既往債務返済のための資金繰りに追われており、事業の継続が難しくなる事業者も増えるなどの危機的状況が続いている。さらに、最低賃金の大幅な上昇とそれに伴う就労調整の激化や雇用保険、医療保険、厚生年金といった社会保険料を加えた公的負担の増加、後継者難による事業承継への懸念、DXやGX対応等の課題が山積している。

本年は、戦後80年の節目の年である。この間、中小企業・小規模事業者は幾多の困難に見舞われてきたが、そのたびに中小企業組合等連携組織に力を結集してこれを打破し、我が国経済、特に地域経済を支えてきた。これまでの困難な局面において、中小企業組合等が果たしてきた役割を改めて想起し、中小企業・小規模事業者の直面する数々の課題においては、中小企業組合の連携力で解決していくことが一層求められている。

さらに、中小企業組合やその構成員である中小企業・小規模事業者に伴走しながら、課題克服への助言、支援等を行っている中小企業団体中央会指導員の活動を質的・量的に強化する必要がある。これを支援するため、国及び地方自治体からの迅速かつ手厚い支援策が不可欠である。

このため、国等は、物価高等で困窮する中小企業・小規模事業者が安心して事業と雇用の継続ができる環境の整備や官公需を含めた価格転嫁・取引適正化への支援、中小企業・小規模事業者の実態に即したDXやGXの推進、新分野展開やものづくり補助金や省力化投資補助金等の生産性向上等の支援をこれまで以上に行うとともに、中小企業・小規模事業者の持続的な発展と成長、豊かな地域経済社会の実現に向け、全国の約3万の中小企業組合等からの生の声を踏まえた本決議事項の実現を強く求める。

【決議事項】

I. 中小企業・小規模事業者等の経営環境変化対応、成長促進支援等の拡充

1. 喫緊の経営課題の解決に向けた支援の拡充・強化
2. 中小企業・小規模事業者の成長促進、持続的発展に向けた中小企業組合等を活用した支援の拡充・強化
3. 中小企業団体中央会の支援体制・予算の抜本的拡充、中小企業組合制度の活用拡充・運用改善
4. 強靱かつ活力ある地域経済社会の実現、持続可能な地域振興

II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

1. 最低賃金制度の適切な運用・在り方
2. 外国人技能実習制度から育成就労制度への円滑な移行の推進
3. 中小企業・小規模事業者者に配慮した働き方改革と社会保険制度の構築
4. 中小企業・小規模事業者の人材育成・確保・定着対策

III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

1. 中小企業金融施策の拡充
2. 中小企業・組合税制の拡充
3. 中小製造業等の持続的発展の推進
4. エネルギー・環境対応への支援の拡充
5. 卸売・小売業・まちづくりの推進に対する支援の拡充
6. サービス業支援の強化・拡充
7. 官公需対策の強力な推進

受彰者のご紹介 栄えある受賞 おめでとうございます

優良組合表彰



四万十食材管理協同組合

代表理事 中野 仁
 設立年月日 平成26年1月17日
 組合員数 14名
 専従者数 31人
 主な共同事業 ①共同購買
 ②共同受託(給食調理)

市町村合併で地域の給食センターの運営が危ぶまれる中、学校給食への安定的な食材供給のため任意団体を設立。平成26年に法人化し、組合員の取り扱い食材を共同集荷・納入するとともに、給食センターの給食調理業務及び調理員の管理を受託している。豊富な食材を使った安心安全な給食の提供に加え、食育・地産地消の推進や地域内雇用の創出にも積極的に取り組み、組合員の経営基盤の確立と地域活性化に大きく貢献している。

組合功労者表彰



森澤 正博

一般社団法人高知県製紙工業会
 代表理事

役員勤続年数 22年

所属団体の主な共同事業

- ① 教育情報提供事業
- ② 調査研究事業
- ③ 紙資源の確保及び緑化の推進事業

平成15年に理事、平成26年からは理事長に就任し、卓越した指導力と行動力で県内紙産業の発展に多大なる貢献をしている。特に、高知県の不織布及び不織布加工品の需要拡大のために国際展示会への出展に取り組むなど、会員企業及び県内紙産業のPRを積極的に行ったその功績は大である。加えて、平成30年から高知県中小企業団体中央会常任理事に就任し、中小企業の振興発展に尽力している。

参加者の皆様
 お疲れ様でした!

次期大会は
令和8年11月19日(木)
熊本県にて開催されます。
 皆様の奮ってのご参加を
 お待ち申し上げます!



通常の定期預金より
高めの金利設定
※当金庫内比較



固定金利の半年複利で
効率よく資産運用



ライフスタイルに合わせて
選べる期間1年・2年・3年
※原則として満期日前の解約はできません。

個人のお客さま向けの

定期預金

マイハーベスト

※詳しくは、店頭チラシまたはホームページをご覧ください。

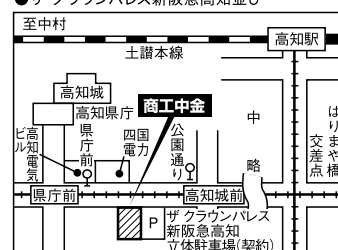


商工中金

高知支店 088(822)4481

〒780-0870 高知市本町4-2-46

●ザ グラウンパレス新阪急高知並び



女性団体等活躍促進事業 レポート

交流・意見交換会を開催しました!

本会では、高知県内の女性団体の連携と活躍を支援する「女性団体等活躍促進事業」を行っています。

その一環として、去る10月23日(木)、高知ちばさんセンター 研修室で「高知女性団体交流プラットフォーム ねえやんの会」の「交流・意見交換会」を開催しました。

今回初めての開催となる当イベントは、「ねえやんの会」の会員同士が気軽に交流し、活動の課題やアイデアを共有することを目的に企画したものです。

当日は、講師に株式会社こうち暮らしの楽校 代表取締役の松田高政氏を招き、講演をいただくとともに、ワークショップではコーディネーターを務めていただきました。

講演

【テーマ】身近なお困りごとから考える商品・サービスの企画
～小さなニーズが大きなチャンスになる～

講師の松田氏は、県内外で商品企画や販路開拓、地域活性化のコーディネートなど幅広く活動されており、数多くのヒット商品を手がけてきた第一人者です。令和元年には国家戦略プロフェッショナル検定「食の6次産業化プロデューサー」において、全国第1号となる最高位レベル6(国内でわずか2名)に認定されています。

講演では、大月町でナス農家を営む松田氏のご両親が、県西部でいち早くナスのハウス栽培へ転換したエピソードなどを交えながら、「小さなニーズをいち早く見つけ、行動に移すことの大切さ」が語られました。

さらに、これまで手がけてきた商品開発の事例を紹介しつつ、「顧客の課題をどう解決できるかが、商品開発の成功の鍵である」と強調しました。

参加者からは「地域の課題をチャンスに変える視点が得られた」「すぐに実践できそうなヒントが多かった」などの声が聞かれ、熱心にメモを取る姿も多く見られました。



▲松田 高政氏



ワークショップ

講演後は3グループに分かれて自己紹介と交流を行ったのち、松田氏の指導のもと「商品企画・アイデア発想法」をテーマに2種類のワークショップが会員団体の商品の試食とともに実施されました。

今回は、「土佐茶普及促進女性会議」の開発中である番茶、「大豊地区農漁村女性グループ研究会」の地元の特産品を活用した商品「碁石茶せんべい」を試食しながら和やかな雰囲気の中で進められました。

まず、テーマに関連する言葉やイメージを連想し、そこから新しい商品案を導くワークを行いました。グループごとのテーマには「碁石茶」・「番茶」・「ナス」が設定され、「碁石茶バーガー」や「番茶の入浴剤」、「ナスのペットフード」などユニークな商品案が次々と生まれました。

続いて、各団体の活動課題を地域資源の活用や会員同士の連携でどう解決できるか検討しました。「自分たちの商品がない」という課題が挙げられたグループでは、地域の特産品である「ぶしゅかん」とお茶を開発するグループが連携し、ブレンドティーの開発案が生まれるなど、実践につながる具体的な提案も登場しました。



今回の交流・意見交換会では、講師からの実践的な学びに加え、会員同士の新たなつながりや連携の芽が生まれました。

「次は商品試作をやってみたい」「他団体とコラボして販売したい」といった前向きな声が寄せられ、参加者にとって大きな刺激と収穫のある時間となりました。

本会では、今後も女性団体の「学び・交流・連携」の強化を目的とした活動の支援を推進していきます。



ものLABOレポート

(高知ものづくりLABO)

「全国レディース中央会全国フォーラムinあいち」に参加しました

去る10月29日(水)、愛知県名古屋市のANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋で、「全国レディース中央会全国フォーラムinあいち」が開催されました。

本フォーラムは、組合女性部や中小企業で活躍する女性経営者の取組事例を共有し、全国の女性経営者が意見交換や研究討議を通じて学び合うことで、女性経営者の能力向上や組合女性部の組織強化・発展を目的として毎年開催され、当日は、全国から約200名の女性経営者や女性部会員が集まり、当団体からは6名が参加しました。

フォーラムでは、藤田医科大学特命教授の大塚耕平氏が「愛知の歴史に学ぶ産業史」と題し、愛知の産業が歴史の歩みとともにどのように発展してきたのかについてご講演いただき、続くグループディスカッションでは、「地域の特色ある産業や取組み」というテーマで、地域の産業や自社の事業について意見交換を行い、地域や業種を超えた新たなつながりが生まれました。

地域の魅力と女性の活躍の可能性を改めて感じる機会となり、今後の活動に向けて多くの刺激を受けました。

また、フォーラムの前段では「レディース中央会女性部会会長会議」が開催され、北副会長が出席し、全国の女性団体の活動や課題について意見交換を行いました。



▲全国フォーラムinあいち



▲女性部会会長会議

働く女性のための異業種交流広場を開催しました

去る11月5日(水)、高知市の(株)SHIFT PLUS「bridge+」で、県内で働く女性の交流の場として「働く女性の異業種交流広場」を開催しました。本イベントは、高知県産業イノベーション課との共催イベントで、戸田会長がゲストとして登壇し、会員企業からは3名が参加しました。

当日は、ゲストによるトークセッションが行われ、仕事やキャリア、ワークライフバランスなど、働く女性が日々直面するテーマについて率直な意見交換が行われました。

その後、交流タイムでは、参加者同士がそれぞれの悩みや課題を共有し、業種や職種を超えたつながりを深める時間となりました。

「普段出会えない他業種の方と話すことで、新しい視点を得られた」「前向きなエネルギーをもらい、明日からの仕事の励みになった」といった声が寄せられ、実りある交流の場となりました。



▲戸田会長のゲストトーク

西部交流会を開催

去る11月5日(水)、ネスト・ウエストガーデン土佐(黒潮町)で令和7年度西部交流会を開催しました。

本交流会は、次代を担う経営者・後継者育成の一環として、会員相互の親睦を一層深めるとともに、本県の地域間交流を促進することを目的として毎年幡多地域で開催しています。

交流会では幡多地域で活躍する特定非営利活動法人NPO砂浜美術館 村上健太郎理事長より、砂浜美術館の取り組みについてご講演いただきました。



▲村上健太郎理事長

講演では、地域の自然・文化・防災・スポーツ・環境を結びつけたまちづくりの実践事例の紹介や、単なる観光誘致ではなく、「あるものを活かす」「マイナスをプラスに変える」という発想で地域の価値を再発見する取り組みについてお話いただきました。参加者からは活発な質疑が行われるなど、有意義な交流会となりました。

交流会後には懇親会を開催し、参加者間の交流・親睦を一層深めることができました。



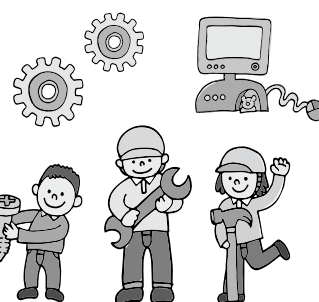
とさとーくを開催

去る11月8日(土)、青年中央会の会員企業と高知高等技術学校の学生との交流事業“とさとーく”を開催しました。

本事業は、企業が学生を理解する場や、学生が働くことを考えるきっかけとすることを目的として毎年開催しています。今回の開催は小学生向けの仕事体験イベント「ワクワクWORKキッズフェス」と同時に開催しました。

当日は製造業や設備工事業などの青年部企業5社が出席し、各ブースで実施される体験コーナーで、高等技術学校の学生と交流するほか、将来の担い手となる小学生及び保護者への企業PR等を行いました。

普段の交流事業とは異なり、学生とざっくばらんな会話ができるなど、有意義な交流会となりました。



四国ブロック交流会に出席

去る10月21日(火)、令和7年度四国ブロック交流会(主催:四国ブロック中小企業青年中央会)が本県で開催されました。

交流会には、四国各県の青年中央会役員及び事務局ら15名が出席し、健康経営の推進をテーマに株式会社トリムエレクトリックマシナリー及び



西島園芸団地の視察研修を行いました。株式会社トリムエレクトリックマシナリーでは、同社の取り組みや電解水素水の効果等について説明を

いただくとともに、電解水素水整水器の製造工程の見学を行いました。その後、西島園芸団地において電解水素水を活用した栽培方法などについて説明を受け、電解水素水や健康経営についての理解を一層深めました。

交流会終了後には交流懇親会も開催され、引き続き参加者間の情報交換・親睦を深めることができました。



組合青年部全国講習会(岩手県)に出席

去る11月14日(金)、岩手県盛岡市で開催された令和7年度組合青年部全国講習会(主催:全国中小企業青年中央会)に出席しました。

同講習会には、全国から約230名の中小企業組合に所属する若手経営者・後継者及び青年中央会事務局担当者が参加しました。はじめに嘉悦大学ビジネス創造学部教授で株式会社政策工房 代表取締役会長の高橋洋一氏より「日本経済の現状と、これからの金融・経済政策」について、続いて、独立行政法人情報処理推進機構の白川浩氏より「リスクマネジメントと情報セキュリティ対策」と題してご講演いただきました。

全国講習会終了後には交流懇親会も開催され、出席者一同、和やかな雰囲気のもと親睦・交流を深めていました。



メリット
1

通常の定期預金より
高めの金利設定
※当金庫内比較

メリット
2

固定金利の半年複利で
効率よく資産運用

メリット
3

ライフスタイルに合わせて
選べる期間1年・2年・3年
※原則として満期日前の解約はできません。

個人のお客さま向けの
定期預金

マイハーベスト

※詳しくは、店頭のチラシまたはホームページをご覧ください。

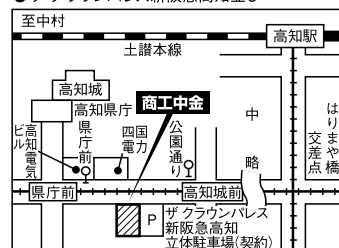


商工中金

高知支店 **088(822)4481**

〒780-0870 高知市本町4-2-46

●ザ グラウンパレス新阪急高知並び





組合いんふおめーしょん

KUMIAI information

協同組合高知機械工業団地

KUMIAI
information

① CP(事業継続計画)の重要性を学び、策定するセミナーを開催しました

協同組合高知機械工業団地(久松朋水理事長)では、企業維新株式会社 安岡和孝氏を講師にお招きし、組合及び組合員企業のBCP策定に向けたセミナーを開催しました。

6月24日(火)の「BCPの重要性を学ぶセミナー」を皮切りに、7月18日(金)から10月17日(金)まで全5回にわたり、BCP策定に取り組みました。

発災の可能性が高いといわれる南海トラフ地震を想定し、同じ工業団地という立地条件を踏まえ、災害時の課題や連携について組合員同士で話し合いました。避難場所の確保が困難な組合員に対しては、組合会館の開放を検討するなど、組合と組合員が互いに支え合う計画づくりができました。



② 第19回 日広青連全国交流会 in四国・高知を開催しました

高知県広告美術協同組合青年部(石本裕樹部長)では、去る10月16日(木)に城西館で「第19回 日広青連全国交流会in四国・高知」(主催:日本屋外広告業青年部連合会)を開催しました。

交流会には、全国から約150名の日本屋外広告業青年部連合会に所属する屋外広告業

の若手経営者・後継者が参加しました。また、映画監督で高知のミニシアター

「キネマM」代表の安藤桃子氏より「想像と創造～すべてのイノチに優しい世界へ～」と題して講演いただき、講演後の交流懇親会では、出席者一同、和やかな雰囲気のもと親睦・交流を深めました。



高知県屋外広告美術協同組合

KUMIAI
information

掲載
無料

組合活動のPR、イベント、新商品のご紹介などの告知コーナーです。
中央会までどしどし情報をお寄せください! E-mail:info@kbiz.or.jp

こうちIT事業者
協同組合

KUMIAI
information

組 合創立20周年記念パーティーを開催しました!

こうちIT事業者協同組合(西村悦一理事長)では、11月21日(金)に組合創立20周年を迎え、同日、ラ・ヴィータで記念パーティーを開催しました。

当日は、組合員や関係者など40名が参加し、組合の20年間を振り返るスライドショーや、創立メンバーによるトークショーが行われました。また、プロマジシャンによるマジックショーも行われるなど、盛大な雰囲気のもと節目の年を祝いました。



高知県遊技業
協同組合

KUMIAI
information

子 ども食堂へ飲料水を寄贈しました!

高知県遊技業協同組合(秋太海理事長)では、去る11月5日(水)に社会福祉協議会(高知県ボランティア・NPOセンター)へ飲料水1000本を寄贈しました。この寄贈された飲料水は、同センターを通じて県下の子ども食堂に配られます。

この活動は昨年に続き2回目ですが、子どもたちの健やかな成長を見守る活動として、これからも続けていきたいと考えています。



高知県中央会HPでも「へんしも情報」が読めます!



スマホ
でも

組合員への共有も、URLや
二次元コードを送るだけで楽々!



PC
でも



バックナンバーも掲載!

(二次元コード)

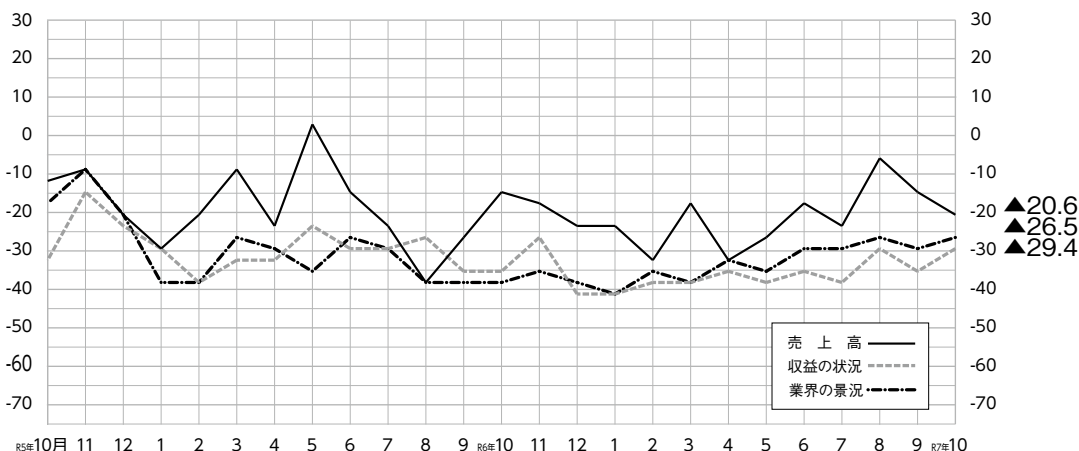


▼HPからのチェックはこちらから
<https://www.kbiz.or.jp/henshimo>
高知県中央会ホームページにアクセスして
【中央会情報誌「へんしも情報」】のバナーから
ご覧になれます!



情報連絡員報告

DI(景気動向指数)



業界の状況



…好転





…不変




…悪化

	電気機械器具小売	10月度は、全商品平均で前年比108%。省エネエコキュートは前年比112%。リフォーム商品は金額で前年比115%。4K8Kテレビは前年比92%であった。
	旅館・ホテル	10～11月の宿泊入れ込みは好調である。宴会動向も年末に向け予約受注が堅調に伸びてきている。

	テントシート	原材料の高騰について、販売価格への転嫁ができつつあると思われる。製品の値上げは落ち着いた雰囲気だが、まだまだ厳しい状況である。
	木製品素材生産	10月期の原木出材量は、天候等もよかったことから少しずつ増加してきている。また、丸太価格については、樹種によって多少緩んできているが引き合いはある。しかしながら製材品の動きがあまりよくなく全体的に横ばい状況。今後、天候等も安定してくるため出材量は増えてくると思われるが、原木価格については、市況の動向が悪く大きな変動は見込めない状況。
	建具	大型の公共工事、施設等の大きな物件はなかったが、リフォーム関係の小さな工事はあった。組合を脱退する人も出てきている。
	製紙(家庭紙)	紙製品全体では、販売金額は前月に続き前年同月比で上回った。しかし、販売量及び生産量は下回った。その中で、雑種紙の販売金額は先月に続き前年同月比で上回った。衛生用紙の販売金額は微減にとどまったが、販売量は大きく下回った。
	製紙(手すき和紙)	業況は特に変化は見えない。売上ほか横ばいで推移しており、少しずつ動きが出始めているように思うが、まだまだ厳しい状況には変わらない。
	生コンクリート製造	10月度の組合員の単月出荷量は、対前年比84.8%。4月からの累計出荷量も対前年比82.9%で引き続き低調であった。単月出荷量は、前月同様に中部・高幡地区は増加傾向にあるが、その他の地区は対前年比70～80%前後で減少傾向にある。4月からの累計出荷量も単月と同様な傾向にある。
	コンクリート製品	対前年同月比112.6%。ここ数カ月、前年度と比較すると出荷量は多くなっている。しかし今後は、前年度並みに推移すると考えている。
	刃物製造	包丁の受注は順調であるが、土佐刃物主力の農業山林道具の受注は相変わらず低調である。包丁により助けられている面が大きい。
	機械団地	一部の事業所から、納期の前倒しによる売上増とともに、コスト増加分の価格転嫁により収益改善が図れたとの声があったが、団地全体としては特段の変化は見られず、横ばいの状況が続いている。小規模事業所における人手不足対策の取り組みで、新たに導入した週休2日制が従業員確保(採用)に役立っている。
	船舶製造	高水準の生産が継続している。
	珊瑚装飾品製造	10月度の取引額は前年同月比で178%となり、6カ月連続で前年を上回る結果となった。
	生鮮魚介卸売	カツオ・マグロ類は単価は高いがとりあえず順調に入荷していた。本格的な冬に向けて魚種が変わってくる。鍋がおいしい時期になってきた。
	中古自動車小売	消費者動向が徐々に上向きになってきており、軽自動車・普通車ともに幅広い価格帯の販売や注文件数が多くみられる。ただ、相場高騰の常態化により仕入れに苦戦している。

	商店街(高知市)	駐車場状況について、10月の駐車場利用台数は、前年同月比97.2%(663台減)となった。要因としては、上旬の百貨店催事時期が例年より変更したことが挙げられる。一方で、料金収入は前年の101.3%(100千円)と増加しており、定期(月決め)収入が要因として考えられる。人流カメラによる集計では、10月の来街者数は前年同月比3.0%減となった。特に大橋通りにおいて2桁の減少が見られた。これは、中心街の集客イベント「大道芸フェス」の開催時期が9月に変更されたことが主な要因として考えられる。10月のクルーズ船入港数は9隻で、前年の6隻から増加した。これに伴い、免税売上も大きく上回る結果となった。入港当日は午前中から多くの外国人観光客が商店街を訪れ、にぎわいを見せた。
	商店街(四万十市)	東下町は土曜夜市の打ち上げ会を開き、組合員らの潤滑油にもなった。19日のウルトラマラソンは無事終了。月末には商店街と小学生の父兄らが協力し、子どもたちはハロウィーンを楽しんだ。
	飲食店	先月に引き続き本月も売上高で前年同月をやや上回った。集客は前年度と同程度ながら販売価格が上昇しているため売上高が増加している。ただし原料費・光熱費・人件費等の上昇幅は大きく、収益が好転するまでには至っていない。前年同月に比べ更に物価は高騰。光熱費・仕入れ価格・人件費、ありとあらゆるものが上昇しているが、顧客離れによる集客の低下の懸念から業界の価格転嫁は十分ではない。
	旅行業	組合クーポン前年同月対比87%、全旅クーポン合算後120%。総売上は順調な推移である。依然として秋のトップシーズンは貸切バスの手配が困難である。
	IT事業	10月の売上は前年同月を下回ったものの、前月からは増加し、緩やかな回復傾向が続いている。一時的な変動はあるものの、全体としては安定した推移で、下支えとなる需要が着実に戻りつつある印象だ。新規案件の動きも徐々に活発化し、組合への新規加入も増えるなど、今後の受注拡大に向けた基盤づくりが進んでいる。引き続き、既存顧客との信頼関係を深めながら、新たな顧客や領域へのアプローチを積極的に進めていきたい。そして、11月21日には設立20周年を迎える。これまで支えてくださった多くの方々への感謝を胸に、次の10年、20年に向けて、更なる成長と発展を目指す節目の時を迎える。
	電気工事	組合員の施工する電力引込線工事は、前年同月比129.6%となった。高知中央地区が前年同月52%、香長地区が同57%となったものの、その他地区は増加した。
	一般貨物自動車運送	燃料価格は原油価格が安定しているにもかかわらず上げ下げを繰り返し、結果的には値下げとなった。荷動きは変わらず鈍く年末の繁忙期に期待するところであるが、ドライバー不足も変わらず、需要に対応できるか不安感がある。
	タクシー	実働1日1車当りの前年同月対比運送収入:101.5%、回数:102.0%、実働率:50.4%。タクシーアプリ(配車アプリ)も開始から6カ月を過ぎた。好評の中でも、年配の運転手にはなかなか馴染めない方もあるようである。お客様の声は、便利で良いと評判のようでどんどん増えるといいのだが...

	食品団地	10月度県内市況は前年と同じくらい。観光関係は少し上昇気味。県外市況は好調気味。賃金上昇への対応として機械化によって合理化を検討する企業が増えている。
	酒類製造	原料米・資材・物流費の高騰による商品の価格改定に伴う仮需で増加となっている。
	製材	あらゆるコストが上昇しており、収益面は厳しい状況。
	印刷	先月よりは売上、操業度とも多少は改善傾向が見えたが前年対比は割れている。県内需要は相変わらず厳しく、特に官公庁の需要が激減の感。県外需要については回復傾向が見られる業種もあるが全般には低調な結果となった。
	卸団地	宿泊は、ある程度好調のようであるが、外食の関係者は、あまり良いとは言わない。「ひろめ市場」以外の外食は、あまり増えていないのか? 景気回復は感じられない。
	青果卸売	10月の取扱高は組合員全体で前年対比84.7%となった。相変わらず低調な状況。今年の1月から10月までの累計でも92.5%となり、12月からの最低賃金上昇など経費が上がることから光明が見えない現況。
	各種小売(四万十町)	10月以降、地域のイベントが多くなる時期である。地域への遍路客・観光客の流入は一定あるものの、平日日中の街歩き等は僅かで、地域の小売店等への影響は少ない。しかし飲食関係の創業は近年多く、地域経済の中で業種による浮き沈みが顕著になってきている。
	ガソリンスタンド	10月の補助額は10円のままとされている。政府からの暫定税率廃止もようやく見えてきた。暫定税率ガソリン25.1円・軽油17.1円分に対し、現在の補助金額の10円を差し引いたガソリン15.1円と軽油7.1円を分割して11月13日にガソリン・軽油とも5円補助金を上げ実質5円の値下げとなる。ただし毎週変わるガソリンの仕切り価格の変動により、5円の下がりとなるかは不透明である。残りについては11月27日にガソリン5円・軽油2.1円の補助額を上げ12月11日にガソリン5.1円(軽油はなし)を上げる予定で12月末で暫定税率を廃止と同時に補助金もなくなると予想される。
	商店街(安芸市)	毎年夏に開催していた「商い甲子園」だが、近年の猛暑による熱中症リスクを考慮し、今年は10月26日に開催した。県内外から12校18チームに加え、特別枠として能登半島地震のあった石川県より輪島高校が参加してくれた。今年のテーマ「あきない未来へ」を掲げ、各チーム思考を凝らした販売活動を展開。昨年度に続き高知商業高校が優勝し二連覇を成し遂げた。昨年に続き、商店街では「商い甲子園応援スタンプラリー」が行われ、お買い物を楽しんでいた。
	クリーニング	高知県では残暑が続き、夏物衣料の衣替えが遅れているため、夏の閑散期が続いている状況にある。衣料のカジュアル化、物価高騰による消費者の節約志向に加えて、エネルギー価格・資材価格も高騰、収益状況は厳しい。この状況で来年1~3月冬の閑散期を迎えると深刻との声が出てきた。リネン業界は堅調だが、一部では人手不足により対応に苦慮している。
	一般土木建築工事	公共工事の発注件数が減少傾向である上に、材料費の高騰により収益率がますます下がってきている。

経営者・役員・従業員とそのご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。

BESTパートナー
大樹生命



従業員のための 退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、
安定した退職金準備が
できる共済制度です。

特定退職金共済制度 引受保険会社
大樹生命保険株式会社



経営者・従業員のための 万一の保障

団体扱生命保険

団体扱* (月払) の場合、
一般扱 (口座振替月払等) で
ご契約いただくよりも、
保険料が割安になります!

オーナーズプラン

経営者の
各種リスクマネジメントのために

パートナーズプラン

役員・従業員の皆さまの
保障準備をサポート



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる
従業員さまのケガなどのリスクに
対してお役に立つ保険です。

業務災害補償保険 引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社
業務災害補償保険 取扱代理店
大樹生命保険株式会社



* 団体扱とは、高知県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込み
いただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い
込む取り扱いのことです。

※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記まで
お問い合わせください。

※ 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあ
たっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起
情報)」「ご契約のしおりー約款」および高知県中小企業団体中央会
の「退職金共済規程(規約・規則)」等を必ずご覧ください。

大樹生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の
代理店・扱者として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社 高知営業部

〒780-0053 高知県高知市駅前町 1-8 第7駅前観光ビル 2F TEL: 088-882-3402
<https://www.taiju-life.co.jp/>

大樹-KB-2023-432 (損保) A-2023-112 (2023.9)
R-2023-1009 (2023.9)

制作
発行



つな
人を継ぎ、組織を育む

高知県中小企業団体中央会

※組合等活性化情報誌「へんしも情報」は、環境に配慮した植物性インキを使用しております。

〒781-5101 高知市布師田3992-2 中小企業会館 4 階
TEL 088-845-8870 FAX 088-845-2434
URL <https://www.kbiz.or.jp> E-mail info@kbiz.or.jp

